

## 2026年JATA中部支部（愛知・岐阜・三重）「新年賀詞交歓会」報告

- 開催日：2026年（令和8年）1月20日（火） 11時30分～13時20分（10時45分受付開始）
- 開催場所：名古屋観光ホテル3F 「那古の間」にて
- 参加者：合計334名（コロナ禍以降最大の参加者）

JATA中部支部では愛知・岐阜・三重県の3県合同で、新年賀詞交歓会を開催するようになってから今回で11回目の開催となりました。富田副支部長の「開会の辞」の後、司会のNTA 藤井聰美さんから来賓紹介。続いて主催者代表（正副支部長・3県支部長・星野事務局長）の登壇紹介後、内海支部長が主催者代表として挨拶。来賓代表として中村中部運輸局長よりご挨拶。JATA本部代表として池畠理事事務局長から挨拶。そして3県を代表し岐阜県観光スポーツ部渡辺部長のご挨拶と乾杯で懇談が始まりました。

内海支部長からは「2026年中部支部6つの重点テーマ」として、①TEJ2025で形成された座組の維持と拡大（中部の観光産業を一過性ではなく継続的発展）②海外・国内・訪日三位一体の観光推進 ③産業界と行政のネットワーク強化 ④若手育成と人材確保への本格投資 ⑤コンプライアンスの徹底 ⑥SDGs・地域貢献の継続を掲げました。今年はアジア・アジアパラ競技大会の開催、中部国際空港の機能拡充、双方向交流の拡大、「休み方改革」の浸透など地域一帯で旅行観光を成長産業へ押し上げる絶好のタイミングである。と発表いたしました。中村中部運輸局長から「昨年のTEJ2025は観光業のみならず経済界も含めて中部地域全体で成功裡に終えた」とのメッセージがありました。岐阜県の渡辺観光スポーツ部長からは「愛知・岐阜のアジア・アジアパラ競技大会」「三重県の式年遷宮に向けてイベント」「岐阜県の山の日イベント」のご紹介後、乾杯の音頭で会が始まりました。有意義な懇談の後、13時15分、堀尾副支部長の閉会の辞で、成功裡に幕を閉じました。

### 【主催者・ご来賓挨拶】



内海中部支部長挨拶



中村中部運輸局長挨拶



JATA本部池畠事務局長挨拶



渡辺岐阜県観光スポーツ部長乾杯

当日の出席者 334 名の内訳詳細は下記のとおりです。

ご来賓 20 名、ご来賓随行者 2 名、領事館・海外政府観光局・協会 12 名、国内観光連盟・自治体 10 名、航空会社 28 名、航空関連企業 3 名、OTOA 会員・旅行関連サービス会社 7 名、旅館・ホテル 50 名、鉄道・バス・運輸機関 30 名、TCSA 会員 8 名、食事・観光施設 8 名、中部賛助会員 7 名、JATA 本部 1 名、JATA 会員 144 名、司会 1 名、JATA 中部事務局 3 名



富田副支部長（開会の辞）



堀尾副支部長（閉式の辞）



内海支部長から受付スタッフへ激励



会場の様子



JATA 中部支部  
正副支部長  
3 県代表  
中部事務局  
総合司会  
(合計 10 名)

最後に今回の新年賀詞交歓会の準備・運営・受付等にご協力をいただきました会員各社の皆様、年始のお忙しい中本当にありがとうございました。